

牧師室から (2022.7.31)

暑い日が続いている。大阪にいる時もこんなに暑さを感じたような記憶がないのに、加齢のせいかなとも思いながら、北海道にいる友人がうらやましくなる。しかし、それも年ごとに段々暑くなり、今までエアコンなしの生活だったが、昨年から入れることになったと聞いた。地球温暖化の影響で北海道も暑くなっているという。

石巻にいる時である。春のある日、ベテラン漁師である町の知り合いの方の誘いで、鈴木牧師と私も一緒に、三人で釣りに行ったことがあった。その方の教えに従って、餌になる甘海老を付けて竿を下ろしたら、桜鯛が次々と釣れた。手の平の半分よりも小さいが、鯛の形をしっかりとっていてとてもかわいい。桜のようなピンク色のうろこが太陽の日差しで宝石のように光っていた。最初は興奮して夢中になって釣っていたが、竿を下ろすたびに多量に釣られている桜鯛を針から離しながら、いやになった。途中でやめたが、それでも結構の量であった。

家に帰って隣の家の方に分けたらとても喜んでくれた。少し面倒ではあったが、うろこワタを取って塩焼きにして食べたら一口のサイズでもさっぱりしてとても美味しい。日曜日に教会のある方に、桜鯛釣りの自慢話をしたら、「桜鯛がここで釣れるはずがない、(うみ)タナゴであるだろう」となかなか信じてくれなかった。桜鯛は南の魚で、東北の海まで来るはずがないということであった。

一緒に行った漁師の方に電話をしたら、「間違いなく桜鯛ですよ」と言った。その話をしても信じてくれないその方に見せてあげよう、と思い、また、同じ場所に釣りに行ったが、二度と桜鯛を見ることができなかった。証明できなかったのが残念だったが、その話は仕方なくそこで終わった。

地球温暖化の話が出ると、いつもその桜鯛のことが頭に浮かぶ。そして、その楽しい思い出さえ、悲しく胸に響く。そのかわいい桜鯛たちはどこまで北上しているのだろうか。私たちの美しい地球はこれからどのようなようになるのだろうか。この暑さがしんどいのは、私の加齢のせいだけではない、地球が熱くなっていくのだ。

神様どうか私たちを憐れんで下さい！ 祈らずにはいられない気持ちである。

(鈴木善姫牧師)